

理想科学は、環境管理の組織体制・制度を整備し、中長期の目標を設定して継続的に活動を展開しています。



2020年度全社環境目的(中期環境目標)の進捗

企業の成長と温暖化対策の両立をめざす産業界を挙げての取り組みである「電機・電子業界低炭素社会実行計画」への加盟に伴い、同計画を踏まえた「2020年度全社環境目的(中期環境目標)」の達成に向けて単年度ごとに目標を設定し、環境負荷低減活動の進捗を管理しています。

2020年度全社環境目的(中期環境目標)

◆エネルギー使用量(原油換算)の削減

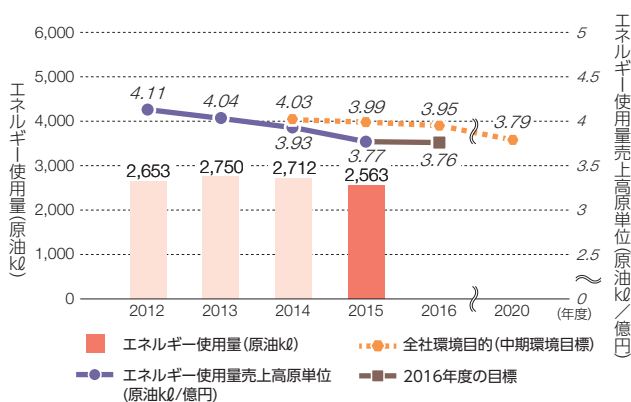
国内全体で

▶▶ 2020年度においてエネルギー使用量単体売上高原単位を

3.79原油kℓ/億円以下にする

(2014年度から2020年度までのエネルギー原単位改善率を年平均1%と定める。達成の判断は、基準年度(2012年度)比で2020年度に7.73%以上改善する)

全社(国内)エネルギー使用量および売上高原単位の推移



集計範囲:理想科学単体国内全事業所のエネルギー使用量(委託物流量、社有車燃料使用量は除く)。売上高は単体売上高

◆CO₂排出量の削減

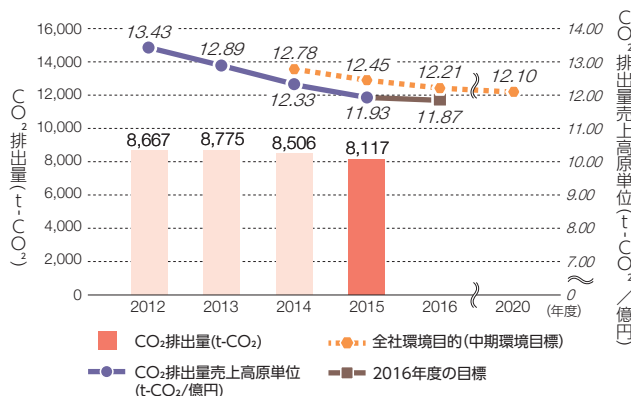
国内全体で

▶▶ 2020年度においてCO₂排出量単体売上高原単位を

12.10t-CO₂/億円以下にする

(エネルギー使用量単体売上高原単位の3.79原油kℓ/億円をCO₂排出量単体売上高原単位に換算した数値に、物流と社有車のCO₂排出量を含めた値)

全社(国内)CO₂排出量および売上高原単位の推移



集計範囲:国内全事業所のエネルギー使用量、社有車の燃料使用量、物流部所管の製品・サービスの物流委託量とそれらに伴うCO₂排出量。売上高は単体売上高

2015年度の 実績

2015年度も省電力に重点をおいた取り組みを継続しました。エネルギー効率の高い設備への更新、屋根の遮熱塗装を行うなど積極的な投資を行い、2014年度比でエネルギー使用量単体売上高原単位で4%、CO₂排出量単体売上高原単位で3%改善しました。今後も、上方修正できるような環境負荷の低減に向けて活動していきます。

詳細はWebに掲載しています。▶▶ 「2015年度の取り組み」(データブック) http://www.riso.co.jp/eco_report/

「環境への取り組み/環境マネジメント体制」 http://www.riso.co.jp/eco_management/

理想科学の取り組み

特集

環境への取り組み

社会のかかわり

海外での取り組み

環境マネジメント

Webサイト掲載情報
第三者審査報告書